



[コウノトリ] *Ciconia boyciana*

湿地生態系の頂点に君臨する鳥で、淡水魚やカエルをはじめとする水生動物から、ヘビやバッタのような陸生動物まで、多様な餌をとる肉食の鳥。現在では、極東に2000羽余りしか生息していない絶滅危惧種です。

野生復帰事業

かつての日本にはコウノトリが普通に生息していましたが、1971年に国内個体群が絶滅したあと、2005年からコウノトリの郷公園が実施してきた野生復帰事業により、最後の生息地であった兵庫県北部の但馬地域を中心に、繁殖個体群が復活しつつあります。



5 ヒナ（15日目）

ヒナは、鳴くことあるいは親のクチバシをつつくことにより餌を催促し、親はこれに反応して飲み込んできた餌を巣の上に吐き出します。



6 ヒナ（1ヶ月）

ヒナはコウノトリらしくなり、羽ばたきを始めるようになります。親は、翼を広げて日陰をつくりたり、ヒナに水をかけたりすることにより、ヒナを暑さから守ります。



7 巣立ち

6月から7月に巣立ちます。化けがら巣立ちまでは2か月以上かかり、巣立ち時の体重は4～5kgです。巣立った幼鳥は、自分で餌をとるようになります。



交通案内

- 神戸から [約2時間10分]
姫路から [約1時間45分]
最寄JCT(北近畿自動車道)
但馬空港 ICから約20分
- JR山陰本線「豊岡駅」から約4.5km
全但バス
(コウノトリの郷公園・法花寺下の宮行き)
○コウノトリ但馬空港から約12km



開園時間等

- 開園時間：9:00～17:00
入 國 料：無 料
休 國 日：毎週曜日(休日に当たるときはその翌日)・12月28日～1月4日

兵庫県立コウノトリの郷公園

TEL668-0814 兵庫県農岡市祥雲寺128
TEL.0796-23-5666㈹ TEL.0796-23-6538
http://www.stork.u-hyogo.ac.jp



附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター(非公開の施設です)

TEL668-0804 兵庫県農岡市野上1314-1

次の組織・施設も敷地内にあります

- 兵庫県立大学学院地盤資源マネジメント研究科 TEL.0796-34-6079代
- 豊岡市立アート文化館 TEL.0796-23-7750代

03教E2-02386

日本の空によみがえる RETURN TO THE SKY OF JAPAN



野生復帰を科学し実践する

兵庫県立コウノトリの郷公園



種の保存と
遺伝的管理

3つの機能

野生化の
科学と実践

人と自然の
共生の普及啓発

【造巣から巣立ちまで】



1 造巣

雌雄が協同で巣づくりをします。材料は枝や枯れ草などです。直径約2mで、中央部に枯れ草を敷き詰め、産座(抱卵・育雛の場所)にします。



2 産卵

産卵期は3月から4月です。1日もしくは2日おきに産卵します。卵は長径が約7cm、短径が約5cmです。重さは約115gです。



3 抱卵

一卵の卵数は3もしくは4が普通です。概ね2卵目から雌雄が交代で抱卵を開始します。



4 ふ化

ヒナがふ化するのは4月から5月で、孵化開始から約1か月後です。産まれたヒナの体重は70～80gです。このあと雌雄が交代でヒナを抱いて温め、餌を運びます。



兵庫県立コウノトリの郷公園
Hyogo Park of the Oriental White Stork



15
持続可能な
開発目標

種の保存と遺伝的管理

遺伝的管理によって、国内個体群が絶滅したコウノトリを飼育下で保存しながら、適性のある個体をリリースすることにより野外個体群を維持成立させています。

飼育管理システム

毎日の飼育記録をデータベース化します



ペアリングの技術向上

系統の異なる個体をペアにします



遺伝学的解析

個体の遺伝的情報を分析します



国内外の機関との個体の交換

新たな系統の個体を繁殖のために導入します



DNA情報解析を行う装置

多摩動物公園からの有精卵移動



野生化の科学と実践

本格的野生復帰のための短・中期計画と野生復帰の最終ゴールをまとめた「コウノトリ野生復帰グランドデザイン」に基づき野生復帰を科学し実践しています。



① 短期目標

安定した貞の野生個体群の確立とマネジメント

1. 豊岡盆地個体群と飼育個体群の維持
2. 給餌からの段階的脱出
3. なわばりの適正配置
4. 豊岡盆地個体群から但馬地域個体群への拡大
5. 境外地域での繁殖個体群の創設に向かう共同研究
6. 持続的な人材育成
7. 地域づくりに向けた知識体系の創造
8. 合意形成の促進

② 中期目標

国内のメタ個体群構造の構築

1. 国内メタ個体群の構築
2. 生息適地の解析の推進

③ 野生復帰のゴール

1. 安定したメタ個体群構造の確立

2. コウノトリと共に共生する持続可能な地域社会の実現
3. コウノトリが普通種になること

人と自然の共生の普及啓発



コウノトリの郷公園では、観察会や講座の開催、自然学校の受け入れなど、公園内の川や湿地を活用した様々な学習を支援しています。

川の生き物調査

Guide App

of Hyogo Park of the Oriental White Stork

兵庫県立コウノトリの郷公園ガイドアプリ



QRコードを読み取ると、オンラインで使用できます。

This website can be used offline.

QRコードを読み取ると、オンラインで使用できます。

This website can be used offline.

日本語

English

コウノトリの郷公園 園内マップ



自然観察路は、山登りに適した靴を履いてご利用ください。

野生復帰を支える地域の取り組み

野生復帰のフィールドとなる地域の人々は、コウノトリと共に生きる環境づくりに取り組んでいます。



マルチタイプ (水田型ピット)

水田に接する生息生物の通常的な生息場所です。中干し時の渡避場所、越冬場所としても機能します。



氾濫原湿地

丹山川流域では、湿地やundra・タマリの自然再生が行われています。魚類の再生産の場所、掃除時の避難場所として機能します。

教育・研究ゾーン付近拡大図



■設備

車椅子の貸出し
(管理・研究棟、文化館、直売所、本舗)

AED自動体外式除細動器
(管理・研究棟、大学院、文化館)

障害者用駐車スペース
(文化館2台分、直売所2台分)

トイレ
(管理・研究棟、大学院、文化館、駐車場)

多目的トイレ・オストメイト・
オムツ交換用設備等 (文化館)

望遠鏡 (観察サイト)

あすまや・展望台

ドーム型ケージ

■お願い



ペットの持ち込みはお控えください
(但し、添助犬は除きます)



補助犬・介助犬
添助犬は除きます



動物の抱き扱いはお控えください



ゴミは各自捨ててください
(所定の場所を除く)



喫煙は禁煙です
(所定の場所を除く)



マスクや手洗いも
必ずお守りください